

♪～市響第404回「ファミリー交響楽」～♪

- 1 交響曲を聴こう ベートーベン作曲 交響曲第5番「運命」
- 2 児童合唱とオーケストラ 山本直純作曲 「歌えバンバン」ほか
友情出演 市川市立中国分小学校吹奏楽部
- 3 ソロカスタネットとオーケストラ 藤田崇文 「カルメンファンタジー」(初演)
カスタネット：真貝裕司(元札幌交響楽団首席ティンパニー：打楽器奏者)
- 4 管弦楽曲 山本直純作曲 シンフォニック・バラード(1983年)



「男はつらいよ」「8時だヨ！全員集合」も作曲 天才・山本直純はなぜ時代に埋もれたのか？

柴田克彦:2017年:朝日出版社

山本直純という偉大な人物がいた。彼は、あの国民的映画「寅さん」こと「男はつらいよ」のテーマ音楽を作曲した。それだけではない。「8時だヨ！全員集合」「3時のあなた」「ミュージック・フェア」といった人気テレビ番組や、「武田信玄」などNHK大河ドラマの音楽も、愛唱歌「一年生になったら」も作曲した。そう、彼は20世紀後半を生きた日本人が、最も多くメロディを耳にしている作曲家かもしれない。

こうした直純の業績のほか、毎晩朝方まで酒を飲み、周囲の人々を巻き込むといった無頼エピソード、小澤征爾との友情、さだまさしとの交遊などを、音楽ライターであり、評論家であり、編集者でもある、柴田克彦氏が『山本直純と小澤征爾』（朝日新書）として発表した。

埋もれた天才・山本直純とはどんな人物だったのか？ 柴田氏に寄稿してもらった。

ある年代以上の方なら、赤いタキシードに口ひげと黒縁メガネの愛すべきキャラクターを思い出すのではないだろうか？ 中でも印象的だったのは、「大きいことはいいことだ」のフレーズで一世を風靡したチョコレートCMで指揮する姿、あるいは別のCMで高見山らと共に纏を振る姿であろう。

彼はかように身近にいた。いや、身近にい過ぎた。こうしたイメージが、世間に桁外れの才能を見失わせ、2002年の逝去後、忘却へと向かわせている。

1932年に生まれた彼は、作曲家の父のもと、3歳から音楽教育を受け、完璧な絶対音感を身に付けていた。何しろ小学校低学年時の日記に「今日はベートーヴェンの第1交響曲の出だしの和音を勉強してきました」と書いているほど。その和音は音楽理論的に特別な音であり、子供が学ぶレベルを遥かに超越していた。

直純の絶対音感については、名指揮者・岩城宏之が語るこんなエピソードがある。東京藝術大学の作曲科に入学した直純は、打楽器専攻の岩城と共に、副科で著名指揮者・渡邊暁雄のクラスを受講すべく試験を受けた。そのとき渡邊が「今からピアノで叩く和音の中の、上から三番目の音の、五度下の音を声に出してごらん」と言った。指十本を使った目茶苦茶な不協和音だ。すると直純は即座に正解を出した。岩城は「こんなことをできるやつは、日本に何人といないだろう。先生自身、絶対にできないに決まっている」と呆れ返った。

直純は、指揮法を理論化した「齋藤メソッド」で知られる大教育者・齋藤秀雄に早期から指揮を学び、その教室で3歳年下の小澤征爾と出会った。中学3年の小澤が訪れた時、齋藤は「いま手いっぱい教えられないから、しばらくは山本直純という人に教えてもらいなさい」と言った。1年間教えた直純は、小澤の問題点をすぐに見抜き、そこを重点的に練習したという。“世界のオザワ”に最初に指揮を教えたのは、齋藤秀雄ではなく山本直純だったのだ。

しかし彼は、世界を目指す若き小澤に「音楽のピラミッドがあるとしたら、オレはその底辺を広げる仕事をするから、お前はヨーロッパへ行って頂点を目指せ」と話し、自身は“底辺を広げる仕事”に力を注いだ。

その代表的な功績が、1972～83年に放送されたテレビ番組「オーケストラがやって来た」である。同番組の音楽監督と司会を務めた直純は、毎回興味深いテーマを掲げ、芸能人や文化人をゲストに招きながら、“敷居が高い”クラシック音楽を、明快に紐解いた。欧米で飛躍していた盟友の小澤も帰国するたびに参加し、ヴァイオリンのスターンやパールマンなど知己の大演奏家をも引き込んだ。この番組は、真摯かつハイレベルながら誰もが愉しく理解できる内容で、クラシックの普及に大きく貢献。直純と同番組なくして日本における当ジャンルの隆盛はなかったと言っても過言ではない。

残した作品は4000曲以上！「男はつらいよ」全48作をはじめとする映画やテレビドラマ、CMの音楽を数多く手がけ、国連委嘱作品「天・地・人」の「人」、合唱組曲「田園・わが愛」などクラシックの名作も書いた。これに「迷混」「宿命」などの画期的なパロディ物や編曲を加えた才能は、「親父の一番長い日」の名アレンジを契機に、公私両面で親交を深めたシンガーソングライターのさだまさしをして「天才」と言わしめた。

指揮者・直純は、日本フィルの「ウィット・コンサート・シリーズ」で評判を呼び、1972年には小澤征爾と共に新日

本フィルの設立に参画して、指揮者団の幹事を務めたほか、様々なオーケストラを指揮してポピュラリティ豊かなコンサートを多数行った。1979、80年には世界に名だたるボストン・ポップスを指揮。同楽団のフルコンサート指揮した唯一の日本人となった。1983～98年には大阪城ホールにおける「一万人の第九コンサート」で音楽監督&指揮者を務め、膨大な演奏者をまとめる凄腕を発揮した。

惜しむらくは1978年の交通違反スキャンダルだ。これによって直純は、決まっていたNHK交響楽団の定期演奏会の指揮を断念した。もしこのとき指揮していたら彼の評価は大きく変わっていたに違いない。

小澤が「本当になかない。彼の方が圧倒的に上だった」と語る天才音楽家・山本直純を今一度見直し、彼が残したメッセージを改めて噛みしめたい。

ソロカスタネットとオーケストラ 藤田崇文編曲「カルメンファンタジー」(初演)

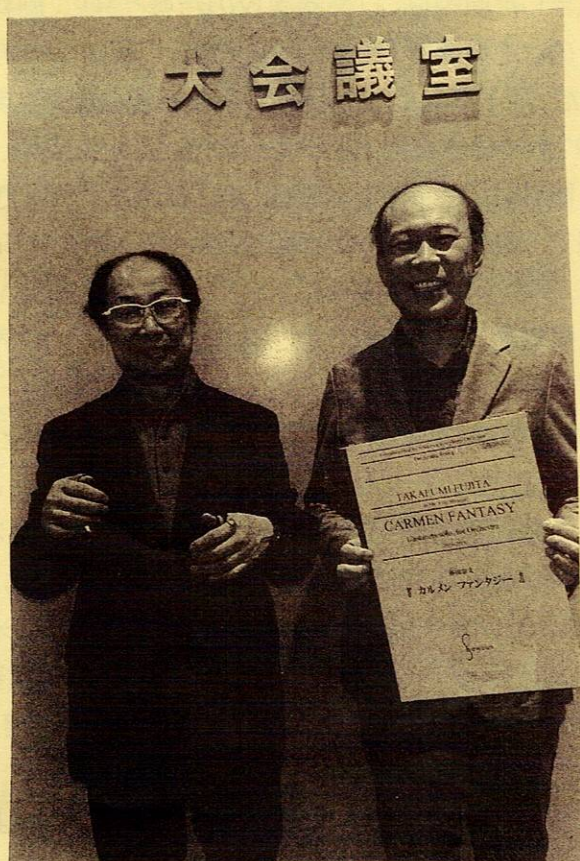
藤田崇文氏に聞く； この曲は札幌でコンサートした時の曲で、もとはピアノとカスタネットでした。それから、今回このような企画があるというので、オーケストラに編曲しました。3年前に札幌とか東京で、ピアノとカスタネットでコンサートをおこないました。今回オーケストラは日本初演です。もともと、真貝先生のリサیتالで何かオーケストラ曲でないだろうか、という話があって、それではカルメンをモチーフにして新しく作ってみました。

カスタネット：真貝裕司（元札幌交響楽団首席ティンパニー：打楽器奏者）に聞く

日本カスタネット協会を私が立ち上げて現在1100名から200名の登録があります。お金をとるとごたつくので、登録無料です。インターネットで「カスタネット、ワールド」で検索して登録してみてください。

2019年(平成31年)市川交響楽団協会演奏会

- 1/11(金)船堀幼稚園訪問コンサート(オーケストラ)
- 1/19(土)中野区民合唱団定期演奏会賛助出演
(市響ジュニア)
- 2/10(日)アイリンクコンサート出演(ホルンアンサンブル)
- 2/17(日) #405「市川交響吹奏楽団定期演奏会」
(吹奏楽)指揮:佐藤宗男
- 2/17(日)第25回市川市文化集会
「天空の文化祭・2019」参加
- 3/2(土)第4回LLCフレンドシップコンサート
(弦楽アンサンブル)
- 5/5(日・祝) #406「市響ジュニア第44回定期演奏会」
指揮:山崎 滋
- 7/7(日) #407「交響楽の午後」指揮:三原明人
- 9/8(日) #408「市吹秋のコンサート」
(吹奏楽)指揮:佐藤宗男
- 9/14(土)第5回LLCフレンドシップコンサート
- 10/13(日) #409「合唱の集い」指揮:山崎 滋
- 12/8(日) #410「ファミリー交響楽コンサート」
(オーケストラ)指揮:大浦智弘



真貝裕司氏と藤田崇文氏